

市内在住の外国籍住民のみなさんに“ことば”で

「困ったこと」、「わかりやすかったこと」などの

体験談をお聞きしました

幼稚園から12年間日本語を勉強していますが、高校で勉強する日本語は難しいです。難しい勉強でも、簡単な日本語を使うとわかります。

苦手なものは、「漢字が多い文」と「ていねいな言葉」です。よく先生に「ごさいます」を忘れて、「ありがとう」と言ってしまう。

話の途中で擬態語を使ったリ、はっきり発音しないときは、わからないことがあります。



千歳高等学校 (留学生)
ダイヤモンド高校
レベッカ・マッカラさん
(アメリカ合衆国出身)

日本に来て5年目となり、後輩に日本語を教えるようになりました。気をつけていることは、簡単な日本語を使うことと、ゆっくり話をしてあげることです。

自分が日本語を覚えたいときは、たくさんの人と話をします。その人が使った言葉や話し方を次の人と話すときに使ってみます。たくさんの人と話すと、日本語がうまくなると思います。



龍建設興業(株)勤務 (技能実習生)
ラハマンエムディジョ
ハヌルさん (バングラデシュ人民共和国出身)

日本に来る前に、インドネシアで日本語を6か月間勉強しました。日本に来てからは、日本語を勉強するところがないので、アニメやテレビを見て勉強しています。

初めて日本に来たときに難しいと思った言葉は、駅で聞いた「まもなく到着いたします」、店で言われた「少々お待ちください」、「お支払方法はどちらですか」などです。スーパーで見た「立入禁止」もわからなくて困りました。

「まもなく到着いたします」は「着きます」、「お支払方法」は「払い方」のように、「短い言葉で簡単」な言葉であれば、内容は伝わります。

一番難しかったのは看板です。漢字が多く使われていて難しいです。漢字が多ても「ふりがな」があるとわかります。難しい漢字には「ふりがな」をつけてくれるとうれしいです。



(株)けーあいファーム勤務 (技能実習生)
シティコエロトゥンニサ
さん (インドネシア出身)

外国人のみなさんから、たくさんの声をききました

- ・ていねいな言葉はむずかしい
- ・漢字ばかりの言葉はわからない
- ・ごみ袋の種類は表を使うとわかりやすい
- ・ジェスチャーを使うとわかりやすい
- ・早口だとわからない
- ・文章を見るより、話を聞くほうがわかる
- ・ひらがなだけでなく、簡単な漢字もあるとよい
- ・同じ漢字で読み方が異なるとむずかしい (今日は日曜日)

たとえば、

- × まいります → ○ 行きます 来ます
- × 避難所 → ○ 逃げるところ
- × 進入禁止 → ○ 入れません
- × 生年月日 → ○ 生まれた日

種類	燃やせるごみ (青色)	燃やせないごみ (黄色)
5ℓ	10円	10円
10ℓ	20円	20円
20ℓ	40円	40円

特集 「やさしい日本語」を使ってみませんか

近年、市内で生活する外国籍住民が増加しています。

「やさしい日本語」とは、外国人にもわかるように配慮した簡単な日本語のことをいいます。外国人の中には、簡単な日本語なら理解できるという方がたくさんいます。

ここでは、市内で働く外国人のみなさんが日常生活で「実際に困ったこと」や「やさしい日本語のポイント」などについて紹介します。



【詳細】 交流推進課国際交流係 ☎(24)0482 ☎(22)8851

さまざまな国籍の方が
くらすまち「千歳」

市内には、2024年(令和6年)11月1日現在で、1323人の外国人(46の国と地域)が住んでおり、令和3年11月と比べ約1.8倍に増えています。

今後は、海外からの技能実習生や、ラビダス社の立地に伴う半導体関連企業の集積により、市内で働く外国人がさらに増えていくことが予想されます。

このような中、外国人が安心して生活するためには、母語に合わせた多言語による情報提供が必要となりますが、現実的には、すべての母語に対応することは困難です。

一方で、日本国内に住む外国人のうち、日本語ができる人は6割以上いると言われています。

そこで近年注目されているのが、「やさしい日本語」です。ポイントを押さえれば、だれでも使うことができるので、外国人との円滑なコミュニケーション手段となります。

市内在住の外国籍	国籍
1位	ベトナム
2位	インドネシア
3位	韓国
4位	中国
5位	フィリピン

【市内在住の外国籍住民の内訳】 (令和6年11月1日現在)

「やさしい日本語」が
できたきっかけ

1995年(平成7年)に発生した阪神淡路大震災では、日本語も英語もわからない外国人への情報伝達が上手くできなかったことで、外国人の死傷率が日本人よりも高かったという調査結果が報告されています。

このような教訓から、緊急時の有効な情報提供についての研究が進められ、外国人に「迅速に」「正確に」「簡潔に」伝えるために、「やさしい日本語」が考え出されました。

だれにでもわかりやすい
ことばで「多文化共生」

多くの外国人が住み、多くの外国人観光客が訪れる本市。今後、外国人と接する機会は増えてきますが、ことばが通じないと十分なコミュニケーションが取れず、お互いが壁を作ってしまう、理解し合うことはできません。

さまざまな文化やことばを持つ人が、お互いを認め合いながら共生していくためには『やさしい日本語』の普及が必要不可欠です。

日本人にも外国人にも住みやすいまちづくりを進めるため、『やさしい日本語』を使ってみませんか。



“やさしい日本語”を作るポイント

「やさしい日本語」に正解はありません。それは、「やさしい日本語」を使って伝える相手の日本語能力や日本の文化習慣・地理・社会などについての知識が一人ひとり異なるからです。伝える相手にとって「必要な情報は何か」を考えながら、いろいろな方法を試してみましょう。

POINT 1

伝えたいことを整理し、情報を取捨選択する

- 一言一句を元の文に対応させて作るのではなく、伝えるべきことを整理し、相手にとって必要な情報にしぼり、簡潔な内容とする

POINT 2

文をわかりやすくする

- むずかしい言葉は、簡単な言葉に言い換える
- 一文は短くする（一文に言いたいことは1つだけ）
- 3つ以上のことを言うときは、箇条書きにする
- 回りくどい言い方をせず、伝えたいことを明確に簡潔に書く



POINT 3

表記に気をつける

- 漢字の量が多すぎないようにし、すべての漢字にふりがなをつける
- 略語は使わない
- 外来語（カタカナ語）は、原語と意味や発音の異なるものが多いため、できる限り使わない
- 文末は「です」「ます」で統一する
- 年月日は西暦に、時間は12時間表記にする

POINT 4

表現に気をつける

- あいまいな表現はできる限り使わない
- 抽象的な言葉は使わない
- 受け身形や使役表現は使わない
- 二重否定を使わない
- 複数の意味を持つ表現は使わない
- 擬態語（「にこにこ」「すらすら」など）は使わない



ワンポイントアドバイス

「はさみの法則」を学んで外国人と話をしてみましょう！



千歳市 交流推進課 井島 課長

「はさみの法則」を覚えよう！

- は** っきり言う → 大きく口をあけて話す
- さ** いごまで言う → 途中で止めずに話す
- み** じかく言う → ひとつの文を短くする

やさしいことばで、優しい気持ちで、 “やさしい日本語” を作ってみましょう

ステップ 1

元の単語

- 救急車
- 歯科
- 家賃
- 予防接種
- ツール
- プレゼンテーション

やさしい日本語にすると

- 急な病気の人や、けがをした人を病院に運ぶ車
- 歯を治す病院
- 家を借りたときに毎月払うお金
- 病気にならないための注射
- 道具
- 発表

ステップ 2

元の表現

- ご持参ください
- ご出身はどちら？
- 記入願います
- 通行止めです
- 9時ごろ

やさしい日本語にすると

- 持ってきてください
- どの国からきましたか
- 書いてください
- 通ることができません
- 8時30分から9時30分までのあいだ

ステップ 3

元の文

- 電車は運転を見合わせています。
- 公共交通機関を使ってお越しく下さい。
- 今朝から頭がガンガンする。
- カード以外は必要ありません。
- ご出席いただきますようお願い致します。

やさしい日本語にすると

- 電車はいま動いていません。
- 電車やバスに乗ってきてください。
- 朝から頭が痛い。
- カードを持ってきてください。
- 出席してください。

自分が作った「やさしい日本語」をチェックしてみましょう！

① ここを入力 → ② ここをクリック → ③ ここをクリック

参考サイト【やさしにチェッカー】はこちらから▼

- 調べたい文をテキストボックスに入力します。
- 「診断」をクリックします。
- 「診断結果」が出ます。「解説」の文字をクリックすると難しかったポイントが詳しくわかります。